

【報道関係者各位】

2026年7月24日
オイシックス株式会社
Future Food Fund株式会社

オイシックスが運営するフード領域に特化したCVC Future Food Fund株式会社 新潟市へ移転 ～食のスタートアップエコシステム構築を加速し、「新潟フードテックタウン」と連携強化～

食品のサブスクリプションサービスを提供するオイシックス株式会社（以下、オイシックス）の投資子会社Future Food Fund株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：松本 浩平、以下 Future Food Fund）は、2026年7月16日（木）に、本社を現在の東京都品川区大崎から新潟県新潟市笹口へ移転が完了したことをお知らせいたします。

■ 本社移転の背景について

Future Food Fundは、オイシックス株式会社の投資部門が起点となり、フード領域に特化したスタートアップ企業への出資および包括的な支援を行うことを目的に2019年8月に設立されました。また、2026年6月までに総額約42億円のファンドを運営し、国内外の41社へ投資を行い、並行してスタートアップの事業成長を加速させるためのエコシステムづくりに取り組み、オイシックスを始めとした、リミテッドパートナー企業との事業連携やサポート体制を築いています。

移転において、投資対象はこれまでと変わらず、国内外全体が対象になりますが、新潟では、オイシックスとNSGグループ（本部：新潟県新潟市）とで立ち上げた、新潟にて世界に通用する食の産業クラスターを形成する「新潟フードテックタウン（以下、NFTT）」の存在があります。NFTTは2035年までに500社のスタートアップを生み出し、世界的企業を誕生させることを目標とし活動を進めています。新潟県は水や食の豊かな風土であり、食産業や食領域の研究機関も要しており、フード領域においては世界的にも競争力の高い地域です。ここ新潟県を拠点とすることで、Future Food Fundの投資先とも連携をしやすくし、事業成長に繋げていくことで、日本のフードテック領域の成長をサポートできる体制の強化ができると考えています。

すでに、NFTTは、エコシステム作りを進めています。実行委員会は自治体や大学・研究機関、金融機関など産官学金の体制で、アドバイザーには国内の大手企業の代表にも就任いただいております。Future Food Fundとしても連携を強化し投資先を含めたスタートアップへのサポートを強化してまいります。

■ 新本社概要

新住所：新潟県新潟市中央区笹口一丁目2番地（※詳細な住所を記載）

移転および業務開始日：2026年7月16日

（※旧住所：東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー5F）

■ Future Food Fund 株式会社 概要

会社名：Future Food Fund 株式会社

代表者：代表取締役 松本 浩平

事業内容：食関連カテゴリのスタートアップ企業への投資事業

設立年月：2019年8月

Future Food Fund株式会社について

Future Food Fund株式会社は、2019年8月に日本の食のスタートアップエコシステムを作る為に、フードイノベーション領域に特化した国内外のスタートアップ企業への出資を目的とするCVCファンドを運営する投資子会社として、オイシックス株式会社により設立されました。パートナー企業とともに、国内外の先進的な食・農・ヘルスケア領域への積極的な投資と、販売や商品開発などの支援も可能としており、日本国内で、スタートアップ企業を支援するエコシステムの構築を目指しています。

（「Future Food Fund」サイトURL：<https://futurefoodfund.co.jp/>）

本リリースに関するお問い合わせ

Future Food Fund株式会社 担当：横溝

TEL: 050-5305-0549（直通） E-mail: publicity@oisix.co.jp

（上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください）

オイシックス株式会社について

オイシックス株式会社は、「Oisix」「らでいっしゅぼーや」「大地を守る会」の国内主要ブランドを通じ、安心・安全に配慮した農産物、ミールキットなどの定期宅配サービスを提供しています。子会社に、高齢者施設や病院、保育施設、企業の社員食堂などで給食事業を展開する「シダックスフードサービス」、買い物困難者向け移動スーパー「とくし丸」、米国でプラントベース食材のミールキットを展開する「Purple Carrot」などがあり、食の社会課題を解決するサービスを広げています。また、「サステナブルリテール」(持続可能型小売業)としてSDGsに取り組み、サブスクリプションモデルによる受注予測や、ふぞろい品の積極活用、家庭での食品廃棄が削減できるミールキットなどを通じ、畑から食卓まで、サプライチェーン全体でフードロスゼロを目指しています。

——— 本リリースに関するお問い合わせ ———

Future Food Fund株式会社 担当:横溝

TEL: 050-5305-0549(直通) E-mail: publicity@oisix.co.jp

(上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください)